



地域と病院・職員同士の情報共有・情報交換

JCHONEWS



- 03 千葉病院オープン！
- 04 ONE JCHO
(理事長訪問)
- 06 役員メッセージ
- 07 役員体制2024
- 08 新任病院長2024
- 10 ジュニアメディカルラリー
(四日市羽津医療センター)
- 11 業務改善ポスター賞
(滋賀病院)
- 12 日本薬学会シンポジウム
(若狭高浜病院)
- 13 病院機能評価
(日本医療機能評価機構)
- 14 総合診療医
(若狭高浜病院)



《屋敷理事、人事異動 2024年6月29日付：退任》

屋敷理事、お疲れ様でございました。
 新型コロナウイルス感染拡大の最中から収束傾向後、各病院の経営支援、経営強化に東奔西走。さらに年明けには能登半島地震での対応など、2年間は本部の司令塔として息つく暇もなかったかと思います。
 経営面で厳しさが増す中、次の中期経営計画において、徹底した経営シミュレーションを行い、法人の目指すべき骨太の方向性を示してくださいました。
 信念のある、そして柔軟性も兼ね備えた頼れる存在でした。
 新天地における一層のご活躍を祈念いたします。



惜別の涙に暮れる



2024年3月1日、JCHO千葉病院は、 病床数160床でオープンしました

特色である人工透析とその合併症の治療を実施する千葉県有数の病院です。今後、旧病院を取り壊し秋にはグランドオープンします。
 急性期から在宅に至る一連の医療が切れ目なく受けられるよう、付属の老人保健施設と連携して、地域住民に信頼される病院を目指し、職員全体で取り組みます。



新しい健診バスも納車されました！
 併せて新築された
 千葉病院健診センターにも注目してください！



地域に「良質な医療」という種をまき
教育という水をやると
信頼という芽がでて
「JCHO」という花が咲く



滋賀病院



職員一人ひとりの総合力を向上させ、
患者さん、地域、職員の3つの満足（三方良しの精神）を大切
にする地域急性期病院をめざしています

大阪病院



私たちの Purpose、「より最適な医療と温かいこころ
で“あなた”と“地域”を支えます」

神戸中央病院



急性期医療を中軸に附属施設（健管、老健、
訪看）とともに神戸市北部の住民の健康を
守ります！

星ヶ丘医療センター

チーム星ヶ丘
若い力を集結し地域で信頼される病院
No.1 を目指して全開でがんばります！！



さいたま北部医療センター



さいたま市北部地域における地域包括ケアの中核的病院として
医療と介護の架け橋の役割を担っております

東京山手メディカルセンター



私たちは、患者さんの良質で安全な医療の求めに「技」と「心」
で応えるため、「接遇選手権」を行うなど患者サービスに一層
の力をいれて地域医療を支えています

千葉大学



千葉大学 横手学長を表敬訪問



毎回、現場のみなさんの生の声を直接
聞くことができ、JCHOへの熱い思い
をひしひしと感じています！
デジタル化の推進・人事異動に関する
こと、さらにはさまざまなアイデアが
飛び出し、毎回楽しみです！
みなさんとの対話を通じて、さらに働
きやすく愛着の持てるJCHOにするた
めに頑張ります、一緒に課題を克服し
乗り越えていきましょう！

役員メッセージ

情報システム担当理事

佐藤 秀暢



JCHO-DXを進めて参ります！

JCHOは現在、組織発足時から長い間使ってきたネットワーク基盤を更新し、JCHO総合情報ネットワークシステム（利用者認証・メール・ポータル等）の更改準備を進めています。一方で政府は医療DXと称して、保険証のオンライン資格確認・電子処方箋・電子カルテ情報共有サービスの構築を推進しています。

JCHOでは、政府の医療DXを肅々と進めつつ、アクションプランにも掲げられている通り、現場目線でJCHO-DXを推進していく所存です。

JCHO-DX推進にあたり、プロジェクトチームを発足し、身近なアイデアを吸上げ、実行する上での課題を整理していきます。あまり大上段に構えずに、事業の改革や業務の改善のためにデジタル技術が活かせる場面を探すところからのスモールスタートとします。

これまでの殻を打ち破り、組織の風通しを良くするといった副次効果を生むためにもDXを進めて行きます。皆さんからのアイデアもポータルを通じて募集します。閃きや着想が湧いた時には是非投稿をお願いします。

組織全体で事業や仕事のやり方を見つめ直して、魅力ある病院作りを目指していきましょう。



2024年度役員体制（2024年4月現在）

⑥ 島田 陽子 理事一言メッセージ

“温故創新”



③ 山本 圭子 理事一言メッセージ

“一期一会”

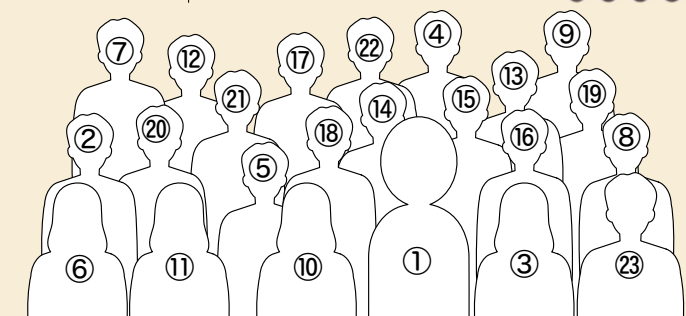


④ 今泉 弘 理事一言メッセージ

“不撓不屈”



- | | | |
|---------|----------|----------|
| ① 山本 修一 | ⑨ 長郷 国彦 | ⑬ 島田 信也 |
| ② 屋敷 次郎 | ⑩ 伊藤 由希子 | ⑭ 小池 雅彦 |
| ③ 山本 圭子 | ⑪ 伊藤 典子 | ⑮ 赤倉 功一郎 |
| ④ 今泉 弘 | ⑫ 石尾 肇 | ⑯ 後藤 百万 |
| ⑤ 佐藤 秀暢 | ⑬ 牧 健太郎 | ⑰ 松本 圭吾 |
| ⑥ 島田 陽子 | ⑭ 徳岡 晃一郎 | ⑱ 内山 明彦 |
| ⑦ 内藤 浩 | ⑮ 関根 信夫 | ⑲ 水島 藤一郎 |
| ⑧ 西田 俊朗 | ⑯ 村上 栄一 | |



■ 理事 ■ 非常勤理事 ■ 監事 ■ 特任補佐 ■ 地区理事補佐 ■ 顧問

新任病院長 JCHO 2024



山本 隆行
(四日市羽津医療センター)



牛嶋 公生
(久留米総合病院)

薬師寺 俊剛
(人吉医療センター)

高田 泰次
(大和郡山病院)

辻 晋吾
(大阪みなと中央病院)

赤倉 功一郎
(三島総合病院)

星地 亜都司
(湯河原病院)

今崎 貴生
(相模野病院)

國崎 主税
(横浜保土ヶ谷中央病院)

児玉 隆夫
(埼玉メディカルセンター)

鈴木 真一
(二本松病院)

【新体制で飛躍の年に！】：山本 修一

2024年はJCHO発足10周年になります。今年も新しく気鋭の病院長11名をお迎えし、期待に胸が膨らんでいます。本部の理事体制の強化、3地区への再編による地区機能の強化と合わせて大いに前進する一年としていきましょう。

私たちはこれまで多くの壁を突破し、多くのことを達成してきました。しかし、次の10年は人口減少がいよいよ顕著になるなど、私たちを取り巻く環境は大きく変わります。生き残りをかけて今まで以上に厳しい挑戦を受けて立たねばなりません。新しい体制はまさに力を合わせて挑戦を受けて立ち、地域からも職員からも愛される病院として勝ち残っていくためのパワーの源泉なのです。

Action Plan 2024/2025

～ JCHO 全体にとっての戦略目標です！みんなで達成しましょう！～

1. 良質な医療提供の拡充
2. 「教育の JCHO」の展開
3. 病院の健全経営の支援
4. 中長期的な法人財務計画の策定
5. 現場目線での情報システム整備
6. コミュニケーション戦略の拡充

よっかいち ジュニアメディカルラリー



JCHO四日市羽津医療センター
HCU副看護師長
伊藤 香菜子

ジュニアメディカルラリーは、
急病・事故・災害時に必要な知識や技術をまさに臨場感をもって学ぶイベントで、
対象を高校生に限定するものは先駆的です。ラリー当日はJCHO中京病院をはじめ、
全14病院・4消防機関・2施設から127名のスタッフの協力を得て、事前に講習を
受けた高校生56名が、リアルに再現された心肺停止や窒息、交通事故の場面で実際
の手技・処置行いました。
参加者は、有事の際に活躍できる人材になっただけではなく、地域貢献や医療従事
者層の増加に繋がる可能性があり、今後も継続して開催していきたいと思います。



JCHO滋賀病院



チーム名：業務改善『眼からウロコ』

優秀ポスター賞

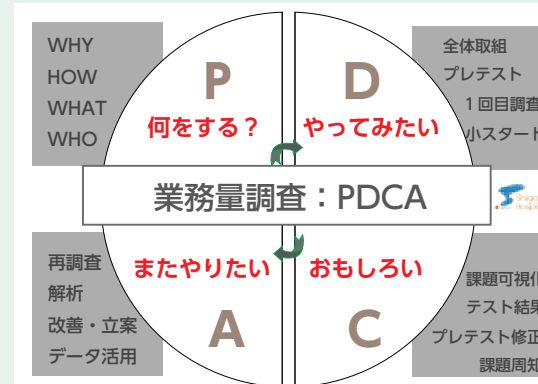
看護業務量の可視化への取り組み
—適正な労務管理を目指して—

主看護師長 田崎 弘美

看護業務の効率化と改善の取り組み、適正な労務管理を実践するために業務量調査結果の活用に取り組みました。調査結果の入力を一元化し、入力するシート(SGMRシート)を開発しました。業務量によって色分けされた一覧表(SGMRマッピング)や「時間集計グラフ」「項目集計グラフ」から、職種別、ラダー別の傾向が明確になり、業務改善や教育活動に生かしています。看護部だけでなく、医師、事務部門、コメディカル部門もSGMRシートによる業務量調査を行いました。これからも調査を継続し、病院全体で業務改善に取り組んでいきます。

病院長より

働き方改革の一環として、現状の業務量を可視化し、分析したことは大変有意義な取り組みであったと思います。今後、他部署へ応用し、さらなる業務改善につながることを期待します。



日本薬学会シンポジウム

プライマリケア視点からの
病院薬剤師の役割とは？JCHO若狭高浜病院薬剤部
主任薬剤師
野田 学

先日開催されました日本薬学会第144年会のシンポジウムにて「プライマリケア視点からの病院薬剤師の役割」という題でお話しさせていただきました。

プライマリケアの5つの理念(近接性、包括性、協調性、継続性、責任性)から我々の役割を考えると、継続性の観点からは、入退院をシームレスに行う役割があり、保険薬局等との連携が重要です。また協調性の観点からは、地域住民や地域の他職種との関わりも重要であり、積極的に病院から飛び出て交流することも必要でしょう。



本部薬事専門職コメント

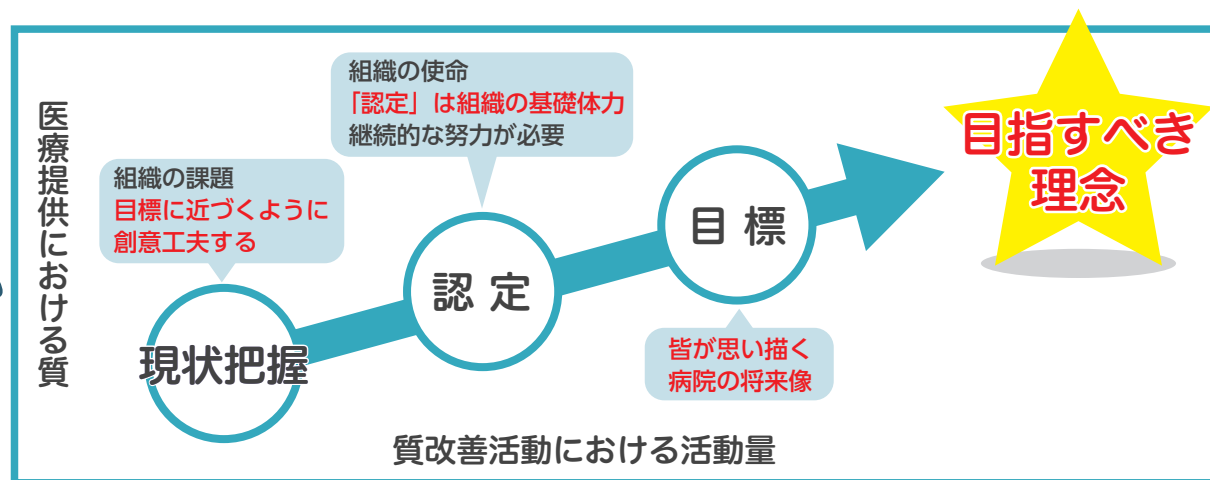
病院薬剤師として総合診療医との連携や地域住民向けの積極的な医療支援活動は、今後のJCHO薬剤師の在り方として重要と感じました！

片山 歳也

病院機能評価
受審の特徴公益財団法人 日本医療機能評価機構 評価事業推進部
支援課 坂入 宏樹

JCQHC 公式サイト

病院機能評価(機能評価)は、病院の質改善活動を支援するツールです。
認定はあくまで病院が目指すべき理念や目標を達成するステップの一つであり、組織横断的かつ継続的な質改善活動に取り組んでいただくためのものです。
現在の機能評価は、監査的な評価ではなく、受審の過程で明確になった課題の改善に向けて病院と評価機構で一緒に考えることを目指しています。



～第2世代(～2012年)

体制・規定・手順書・マニュアルなど、構造的な側面を中心に組織的な活動状況

体制の整備 / 規程の整備
(ストラクチャー)

機能の発揮 / 組織的活動
(プロセス)

活動成果
(アウトカム / 質改善)

第3世代(2013年～)

臨床の現場で展開される診療・ケア、業務の流れなど、活動内容に重点を置いた確認

体制の整備 / 規程の整備
(ストラクチャー)

(プロセス)
体制の整備 / 規程の整備

活動成果
(アウトカム / 質改善)

JCHOで 育成する 総合診療医



はま♡なす
JCHO 若狭高浜病院マスコット

地域医療の未来を担う「総合診療医の育成」こそ
我々の使命であり喜び！

JCHO若狭高浜病院 海透優太（整形外科医長/臨床研修センター長）・清水海斗（内科）
安原大生・村山公介（福井大学医学部地域プライマリケア講座助教）

高齢化の進む地域の小病院だからこそ
「老年医学」
「慢性臓器障害」
「地域医療機関のハブ」を3本柱

疾患を診るだけでなく、疾患を持つ人の人生を豊かにする医療を提供する意識を高めることができていると感じています。

自宅生活と医療を繋ぐ機関として

急性期病院での診療情報を集約してハブとなり、亜急性期から慢性期の患者に必要な医療のグラデーションを「見える化」する役割を果たしています。

好ましくない臨床イベントに直面した時には

老年医学の観点で問題点を把握し、多職種で評価介入も行うことで患者の価値観に配慮した医療の個別化を図っています。

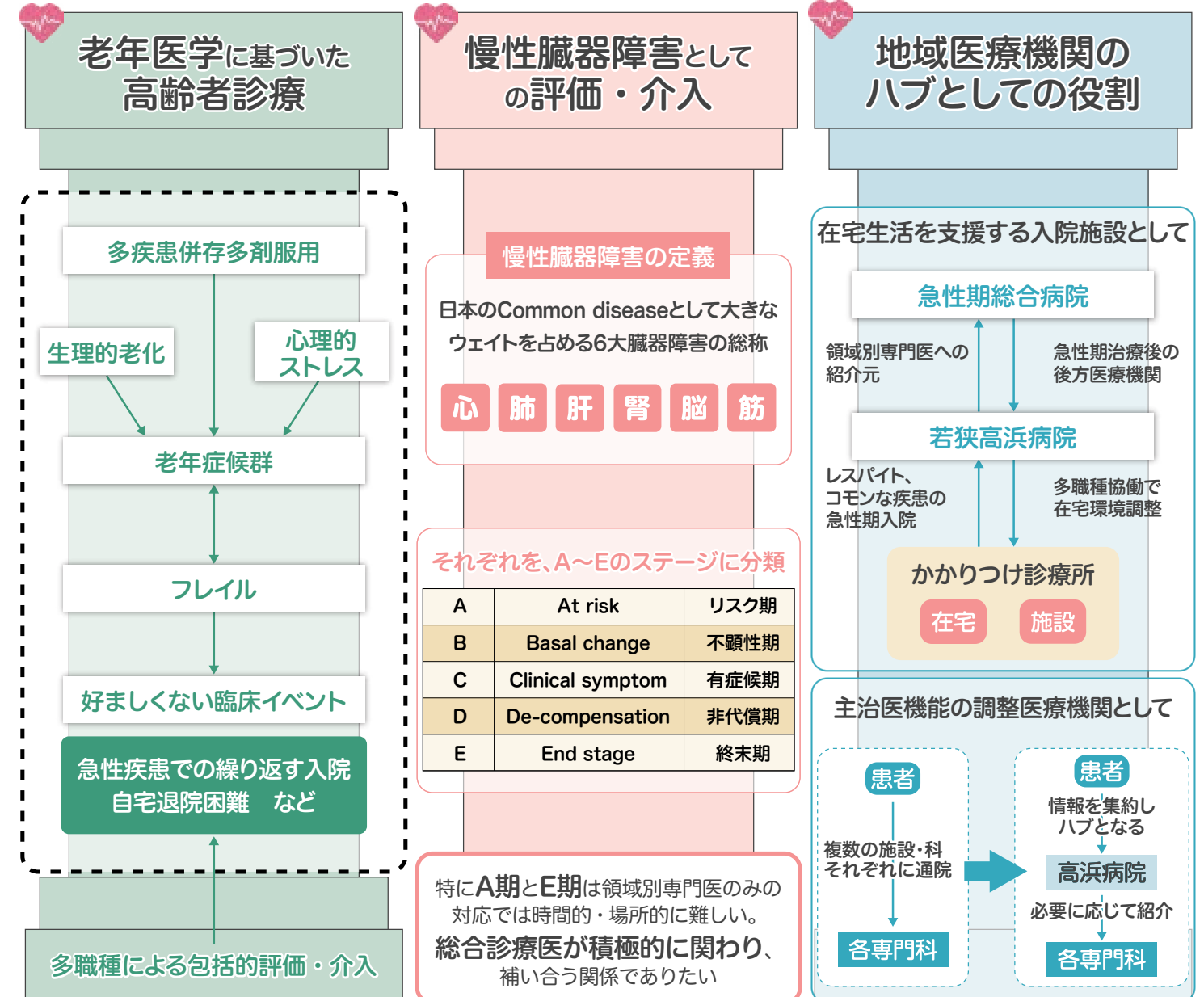
複数の慢性臓器障害を抱える高齢者に対しては

各臓器障害のステージ分類を行うことで疾患管理の優先順位を定めることで、医療が患者負担になりすぎず適切に管理されている状態に調整します。

実臨床を通じて多職種連携がこの3本柱を強化することを実感し

カンファレンスの運営や多職種教育の実践を通して協働システムを整備する重要性を理解するきっかけになっています。

若狭高浜病院の総合診療医に重要な3本柱



医心伝心

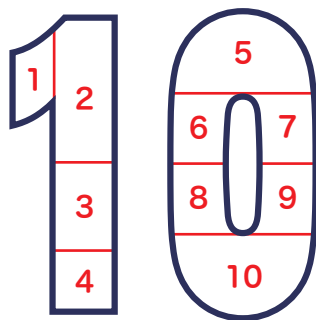
広報文書課

JCHOは本年「10周年」を迎えました。

10年間で育てた私たちの絆、さらに次の10年へ向かい、広報誌「JCHO NEWS」をわかりやすい表現方法と親しみやすいデザインで情報を発信するために、紙面サイズを一新し、視覚的にも読みやすくしました。

今期の「JCHO NEWS」表紙では、10周年を記念して【10の数字に10枚の写真】をメインビジュアルとして採用していきます。つきましては、思い出の写真・各種イベント・行事・10周年を象徴するようなイメージ写真を募集します。

各病院・施設職員のみなさまにおきましては、ぜひ投稿いただけますと幸いです。



独立行政法人
地域医療機能推進機構
Japan Community Healthcare Organization



本部

〒108-8583 東京都港区高輪3-22-12 ☎ 03-5791-8220

<https://www.jcho.go.jp>



地域と共に10周年！JCHOは、これからも皆さまと一緒に歩み続けます！



今年は仙台！
熱烈開催準備中！



地域と病院・職員同士の情報共有・情報交換

JCHO NEWS





10周年記念イベント：JCHO群馬中央病院
5年ぶり納涼会。たくさんの笑顔に出会えました

10周年記念キャラクター制作



JCHO松浦中央病院

「なぎさ」

プロフィール

お仕事：病院のPR活動

出身：アジフライの聖地

一言：辺境の地から「華夷弁別」輝く



JCHO宇和島病院

「おたすけ たい」(愛称:たい君)

プロフィール

お仕事：広報活動全般

出身：宇和島の海

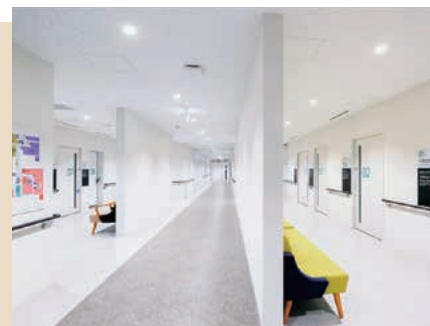
一言：「みんなのことを助けたい」というJCHO宇和島病院の人々の気持ちから生まれた鯛の妖精

2024年5月
運用開始



JCHO 徳山中央病院

「全ての人に優しくわかりやすい機能的な病院づくりと、災害拠点としての機能充実」



徳山中央病院は、今年で78周年を迎えます。多くの部署が老朽化の問題を抱えていました。災害に強い病院を目指すべく、令和3年から新棟建設工事に着工し、1期工事がようやく完了し、外来棟オープンの運びとなりました。敷地面積の関係で2期工事終了は令和7年12月頃を予定しています。何卒ご理解・ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



地域に「良質な医療」という種をまき
教育という水をやると
信頼という芽がでて
「JCHO」という花が咲く



九州病院

私たちは、情熱・やりがい・お互いを尊重する気持ち大切に、信頼される医療を実践し社会へ貢献します



福岡ゆたか中央病院

「断らない救急医療体制の構築」を目指して、職員一同で近隣住民の皆様の健康を守ります



医療・保健・介護福祉を有する施設として三位一体の医療提供を行い、地域住民への貢献を行います！

京都鞍馬口医療センター



三方を見渡せば山に囲まれ、近くに鴨川が流れる京都市北地域の『扇の要』の位置で、地域医療の核として邁進しております！



大阪みなと中央病院

大阪市港区唯一の急性期病院として、地域の医療に貢献してまいります

登別病院



登別市唯一の公的病院として医療と介護の両面から地域包括ケアの中核として職員一丸となって取り組んでいます



登別市長を訪問

東京高輪病院



「心のこもった医療を安全に提供します」、「迅速に受け入れ対応をします」をモットーに、地域に必要とされ続ける病院を目指します

高知西病院



リハビリ・透析・健診を3本の柱とし、地域の皆さんの健康と福祉の充実に力を注いでいます

役員メッセージ

病院経営・総合診療医担当理事

今泉 弘



不撓不屈（ふとうふくつ）の心

日々、地域医療の現場で献身的にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

医療を取り巻く環境は日々変化しており、私たちの病院も様々な課題に直面しています。特に経営面では、多くの病院においてこれまでにない厳しい時代がおとずれています。医業収益は増加しているにもかかわらず、これを上回る経費負担が我々を苦しめています。我々はこの変化に早急に対応し、健全な病院経営を継続しなくてはなりません。この困難な時代だからこそ、さまざまな課題を解決しながら成長する機会と捉えるべきだと思います。

JCHOで働いている私たちは地域医療を支えるべく、患者さんや地域の皆様のニーズに応え良質な医療サービスを提供する責任があります。一人ひとりの努力と協力が、組織全体の力となり、地域からの信頼をさらに深めることができます。

職種にかかわらず私たちすべてが医療に携り、日々人の健康維持・増進、治療といった大切な仕事を担っています。

皆様と共にこの使命を果たしていきたいと考えています。常に前向きな姿勢を持ち続け、不撓不屈の心で困難に立ち向かい、プライドを持って地域に根ざした医療を展開していきましょう。

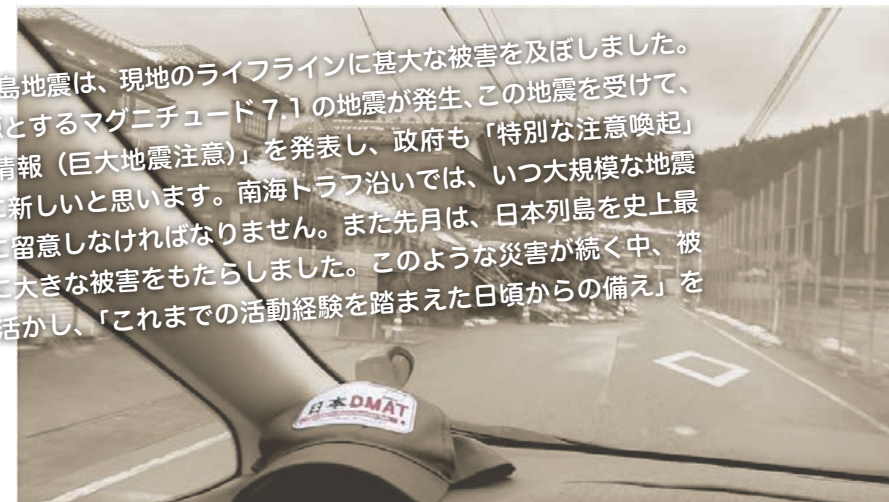


被災地医療支援活動について

災害時の医療とは、医療需要と医療資源の均衡が崩れた状態、医療資源も少ない中で、たくさんの負傷者の対応をする医療です

元日に発生した令和6年能登半島地震は、現地のライフラインに甚大な被害を及ぼしました。さらに同年8月には日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生、この地震を受けて、気象庁は「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を発表し、政府も「特別な注意喚起」を一定期間実施したことも記憶に新しいと思います。南海トラフ沿いでは、いつ大規模な地震が発生してもおかしくないことに留意しなければなりません。また先月は、日本列島を史上最大規模の大型台風が襲い、各地に大きな被害をもたらしました。このような災害が続く中、被災地での医療支援活動の教訓を活かし、「これまでの活動経験を踏まえた日頃からの備え」を共有していくことが重要です。

日本DMAT



Disaster Medical Assistance Team

南海トラフ巨大地震 - 覚悟と準備 - （被災地内の災害拠点病院として）

JCHO 南海医療センター 副院長 武内 裕

発災から約1ヶ月、災害のフェーズとしては亜急性期から慢性期に移行する時期の2月1日から4日まで、当院は日本DMAT（医師1名、看護師2名、業務調整員1名）として穴水町で医療支援活動を行いました。医療支援に入った公立穴水総合病院は、多大な被害により診療機能の縮小を余儀なくされていましたが、限られた人員、医療資源の中で、様々な受援の活用により早期の医療機能の復旧に向けた取り組みがなされていました。今回の地震では、能登半島内のアクセス道路の寸断により、迅速な支援活動に支障をきたした「陸の孤島」が大きな問題となりました。大分県南部医療圏も南海トラフ大地震で想定されている津波により、同様に「陸の孤島」となることが予想されます。直撃を受ける当院は災害に強い病院としてリニューアルしましたが、医療活動の制限は免れないと考えています。今回、被災地内の病院に支援活動に入ること、いかに受援体制を整え、医療活動を早期に正常復帰させるかが重要であることを教訓として得ました。その渦中、8月8日の日向灘地震を受けて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されました。「もしかしたらくるかも」ではなく、「かならずくる」と覚悟し、準備します。

「令和6年 能登半島地震」における JCHO の活動

「1人でも多くの命を助けよう」



災害は医療需要と医療資源の均衡が崩れた状態



JCHO星ヶ丘医療センター

新3病棟 看護師 新谷 早

2024年能登半島地震災害における災害支援ナース第1陣として、日赤の方2名と石川県穴水総合病院の支援を行いました。朝はDMAT会議に参加し、病院の方針や情報を共有。現場では、被災された看護師が病院で寝泊まりをしていたため、病棟看護師の負担にならないように、自分達で今何が出来るかをアセスメントして行動しました。

看護ケアでは、限られた資源を活用し患者さんの状態に合わせて口腔ケアを行い肺炎予防に努めました。

病棟以外の業務では、衛生環境を維持するため仮設トイレの掃除など率先して行ったり、より良い支援に繋げるため、災害支援ナース活動日誌や災害支援ナース間でのミーティングを密にして、次の支援ナースへの引き継ぎを円滑にすることができました。

【DMATへの参加】

・・・延べ活動日数 16チーム74名/325日

【広域看護師派遣への対応】

・・・延べ活動日数 42病院 80名/364日

7階西病棟 副看護師長 渡邊 久美子

看護介護部 介護福祉士 端浦 吉治

穴水総合病院の救急外来へ派遣。すでに1カ月経過後ということもあり、多数の患者さんが外傷や感染症でした。
必要な物品がなく、あるもので代用するという経験から、日頃よりあるもので対応する知識や技術を身につけておくことが大切だと感じました。
今後の災害対応時、どのように対応していくか考えながら仕事をしていきます。

〈実施したこと〉

救急外来業務：問診・処置時の介助

(シーネ固定・ニーブレス装着の介助、外傷の消毒ガーゼ保護)

採血・点滴

水を必要とする処置が必要な患者の転院搬送準備

COVID-19・インフルエンザ検査

〈困ったこと〉

全ての物品の位置の把握 / 使用方法

災害を経験した患者さんとどのように話したらいいのかが迷った時があった。

断水→病棟には簡易手洗いが置かれていたが、救急外来にはなくアルコール消毒のみだった。

患者はトイレにオムツを敷いて使用、スタッフは外の簡易トイレを使用。遠く、寒かった。

夜間は暗い中4階から外のトイレに行った。また、トイレ後の手洗いの水がとても冷たかった。

2024年元日 能登半島地震が発生し、県から定員を超えての受け入れ要請がありました。受け入れに必要なベッド等の物品調達や居室の配置を考慮して、104名まで増床しました。
定員超過の受け入れに対し人員確保が必要となり、JCHO地区事務所へ派遣要請を行い、介護福祉士の応援をいただきました。

避難所では感染症が流行していましたが、感染症対策を強化しながら合計18名の被災者を受け入れました。

また、県より要請があった1.5次避難所への応援派遣では、運営・相談などの福祉的支援活動に参加しました。被災後半年以上経過しましたが、今後の目処が立っていない方も多く、引き続き安心して生活できるよう支援をしていきたいと思えます。

もっと知ってほしい、被災地医療支援活動における

DMATの 衣・食・住

衣

チーム力向上！
仲間としての絆の証
共通の活動ウェア・
チームウェア
の役割は重要！



食



保存食、普通においしい！でも、毎日だと・・・

住



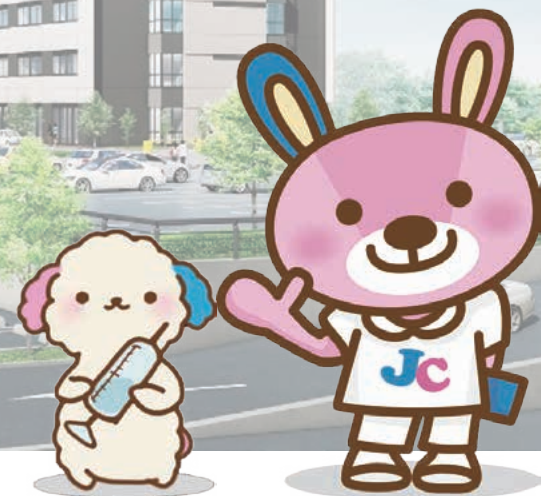
勿論、
トイレ事情も大変！



宿泊は、防衛省“ご用達”フェリーの時もあり

最終回2024年9月15日ON AIR JCHO千葉病院にて撮影が行われました！

2018年に放送され、人気を博した
二宮和也主演の医療ドラマ
「ブラックペアン」の待望のシーズン2！



病院機能評価 桜ヶ丘病院 (前編)

「受審直前の様子について」

JCHO桜ヶ丘病院 事務長 上野 秀幸

2023年6月機能評価委員会を立ち上げ、全体スケジュールを計画、7月に委員会メンバーを選定し解説集に沿って課題の抽出・対策を進めました。
当院ではほとんどの職員が機能評価の受審経験が無く手探り状態でしたが、新築移転業務と重なる中で委員会メンバーが奮闘したこと、アドバイザー病院から貴重な情報提供をいただいたことでほぼスケジュールどおり準備を進めることができました。
2024年6月新宿メディカルセンター関根院長先生、相模野病院小野寺先生の模擬審査を受けて実践的なご指導をいただき本番へのイメージをつけ、8月には院内にてケアプロセス、カルテレビュー、面接調査等の練習を行い9月の本番に向けて気持ちを高めています。

JCHO 桜ヶ丘病院



6月14日
ケアプロセス模擬審査
の様子です



à la carte



JCHO中京病院：建替え工事（2024.8）

病院・施設情報、新規導入機器、新規取組み、告知
工事進捗状況、シーズンイベント、病院食などの紹介

JCHO桜ヶ丘病院：新築工事（2024.9）



Trick
or
Treat

JCHO 東京新宿メディカルセンター

「山本理事長と対談～JCHOの総合診療医育成について～」



JCHO若狭高浜病院
整形外科/臨床研修センター長

海透 優太

総合診療の本質は、患者の個別性に重きを置いた医療であり、規模を問わずどの病院にも真の総合性が求められます。地域小規模病院では多職種連携により個別化を図った医療を提供する実践が行いやすいメリットがあります。

さらに、教育を通じて地域医療の持続可能性にも貢献できると考えており、教育で地域貢献を続けます。



10月の第二木曜日は「世界視力デー」です。

「脳でものを見る」と聞いたことがありますか？

眼はカメラのようなもので、角膜・水晶体というレンズがあり、網膜というフィルム（CCD）に像を写します。

眼で見た情報は網膜で信号に変換され、視神経を通して脳に送られます。最後は脳が認識しないと見えないのです。

みなさんの中に業務や様々な理由で、目の疲れ・乾き・痛み・頭痛などの症状が出ている方はおりませんか？

近くにピントを合わせることが疲労の原因と云われています。

【20-20-20】のルールを活用して、眼の筋肉を疲れないうに使うことが疲労予防に繋がります。遠くを見ることで、眼の筋肉を休ませましょう。

**20分に1回
20秒間
20フィート(6m)
離れたところを見る！**



独立行政法人
地域医療機能推進機構

Japan Community Healthcare Organization



本部

〒108-8583 東京都港区高輪3-22-12 ☎ 03-5791-8220

<https://www.jcho.go.jp>



地域と共に10周年！JCHOは、これからも皆さまと一緒に歩み続けます！



地域と病院・職員同士の情報共有・情報交換

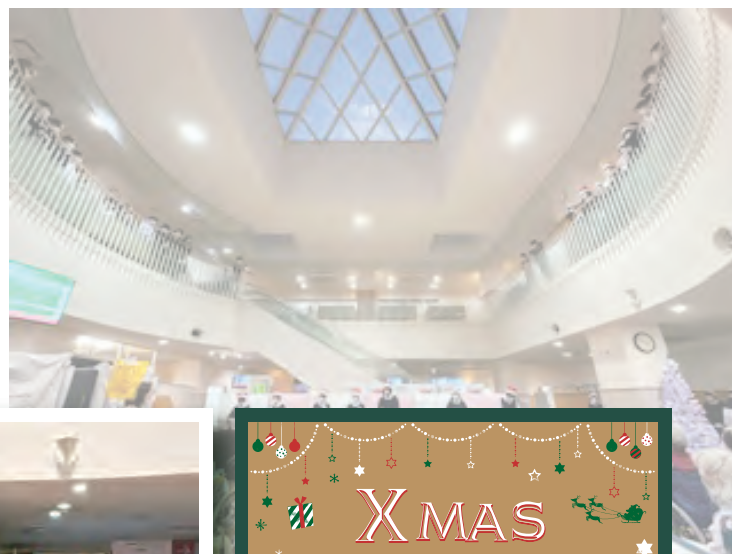
JCHO NEWS



years

- 03 高度急性期で活躍する介護福祉士
中京病院
- 04 ONE JCHO
(理事長訪問)
- 06 役員メッセージ
- 07 JCHO未来ビジョン
- 08 **特集** 10周年記念イベント・市民公開講座
四日市羽津医療センター
諫早総合病院
人吉医療センター
福井勝山総合病院
群馬中央病院
東京高輪病院
大和郡山病院
桜ヶ丘病院
宇和島病院
佐賀中部病院
- 14 初期研修医の取組
中京病院
総合診療医
札幌北辰病院
- 15 Web活用による
ブランディング戦略
東京新宿メディカルセンター

10周年記念イベント：東京高輪病院
2024年 クリスマスコンサート



高度急性期で活躍する介護福祉士の紹介

中京病院 副院長・看護部長 河嶋 知子

今年度から、3つの病棟に介護福祉士が配置されました。看護師と連携しながら、高齢患者さんの生活支援や認知症・せん妄ケア、生活リハビリ等の業務を担っています。最も大きな成果は、身体抑制率の大幅な減少です。高度急性期病院において看護師は、輸液管理やモニタリング、ドレーン管理等の診療の補助に関わる時間が多く、生活支援については十分ではないことが大きな課題でした。チームの一員として重要な存在となっています。



地域に「良質な医療」という種をまき
教育という水をやると
信頼という芽がでて
「JCHO」という花が咲く



ONE
JCHO

福井勝山総合病院



奥越地域の総合病院として「地域に根ざし、
地域から愛される病院」をモットーに地域の
方々に貢献します！

佐賀中部病院



広報活動に力を入れ、メディア
やSNSを通して病院を積極的
にアピールしています!!

金沢病院



高岡ふしき病院

私たちは適切な医療を
実践し、地域の皆様に
信頼され、安心でき
る、地域に根ざした医
療をめざします

二本松病院



安達太良山の麓で、地域の皆様に安心を提供するため
保健・医療・福祉の向上に努めてまいります

可児とうのう病院



病院の理念である
「地域に密着した安全で信頼される医療と介護」
を職員一丸となって取り組んでいます



役員メッセージ

医療・研修担当理事

山本 圭子

地域で求められる安全で質の高い医療

日々、安全で質の高い医療サービスの提供に向けてご尽力いただき、ありがとうございます。

国難ともいえる人口減少、病院経営が厳しい時代を迎えています。こんな時代だからこそ、職員一人一人が能力を最大限発揮いただくことが重要であり、「教育のJCHO」として職員の資質の向上や、病院機能評価の受審など医療の質改善の取り組みを、サポートしてまいります。

今後、地域の医療機関と連携・機能分担して、必要な医療を提供するための地域医療構想の推進、災害・新興感染症等への対応など、地域医療の持続可能性を高めていくことがますます重要となります。地域医療を支えているのは皆さまお一人お一人です。地域医療に携わるお仕事を選ばれた皆さまは、職種を問わず、人の役に立ちたい、喜んでもらいたい、という気持ちをお持ちの方が多いと思います。

一期一会で、目の前の患者さん、同僚や地域とのつながりを大切に、魅力ある地域づくり、病院づくりを進めてまいりましょう。



JCHO 10周年プロジェクト未来ビジョン

JCHO 未来ビジョン

理事長特任補佐

徳岡 晃一郎



みなさん、JCHO 10周年を機に始まった未来ビジョンプロジェクト。多くの仲間が集まって、JCHOの次の10年のありたい姿を検討しています。

一方で、今年は大変な年です。コロナ後の受療行動の変化や診療報酬改定による影響、さらにはもっとマクロの長期トレンドとしての厳しい人口減少の波を受け、民間でも多くの病院で大変厳しい経営を強いられており、皆さんは目の前の課題に奮闘されていることと思います。

このような大変な時期を乗り越え、この先も地域の医療を支えて、人々の安心を確保していくには、私たち自身が私たち自身の未来を信じていることがエネルギーの基になるはずです。どんな未来を創りたいのか？その方向性を未来ビジョンのメンバーが検討しています。

未来ビジョンプロジェクトは理事長直轄下で、3つのプロジェクトチーム（CHT：Cross-Hospital Team）からなっています。

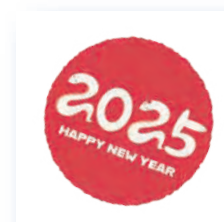
①CHT1	事務関係のスムーズ化のための組織・業務運営改善
②CHT2	人事・人材育成の強化
③CHT3	JCHOの知名度アップ、ブランドイメージアップ戦略

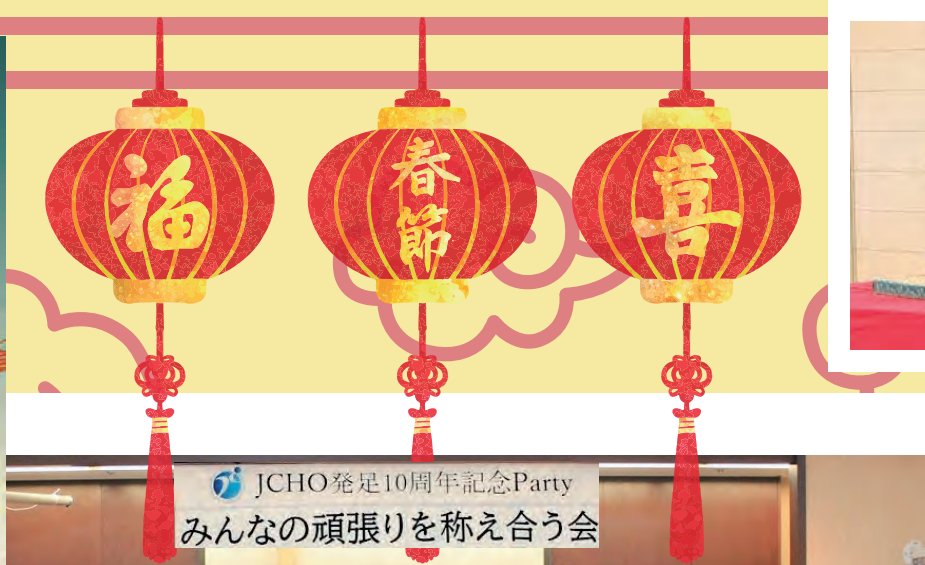
みなさんが安心して誇りをもって働ける未来の職場を模索しています。多くの職場でもぜひ自院の未来を考えていただければと思います。皆で一緒に未来の明るいJCHO、未来の日本の安心な地域医療を考えていきましょう。

未来ビジョン × 現在のメールアドレス



最新情報・詳細は
JCHOメール検索BOXに入力





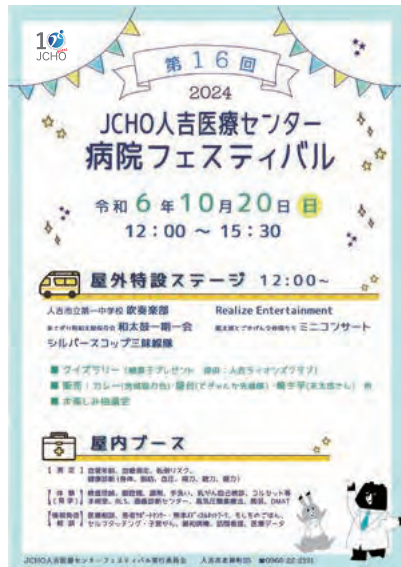
諫早総合病院

「JCHO発足10周年」という機会を借りて「みんなの頑張りを称え合う会」を開催しました。JCHO傘下施設として今後も頑張っていく意思統一が図られた催しとなりました。

四日市羽津医療センター



10月5日、落語家の桂 福丸様をお招きし、講演会を開催いたしました。前半は認知症予防にまつわる講演、脳の活性化クイズや体操で大いに盛り上がり、後半は会場から「待ってました!」と声が響く中、落語を披露していただきました。地域住民の方のみならず、入院患者の方々にもご参加いただき、笑い溢れる講演会となりました。



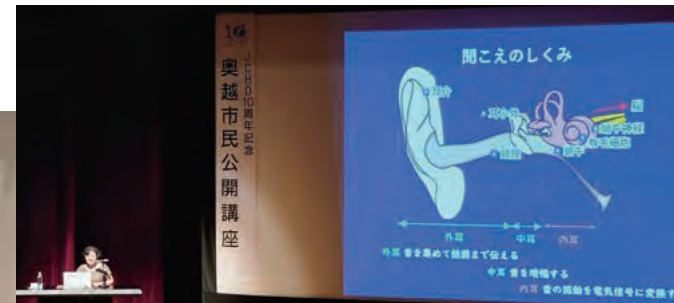
人吉医療センター

病院フェスティバルでは、人吉第一中学校吹奏楽部による演奏で幕開け、スコップ三味線やダンス、和太鼓パフォーマンス等を開催。
JCHO10周年の本年、当職員によるミニコンサート「龍太郎とごきげんな仲間たち」も大盛況。地域の方のみならず病院内外においても病院の取り組みを周知する機会となりました。

病院フェスティバル



福井勝山総合病院



JCHO 10周年記念 奥越市民講座



心臓マッサージ体験コーナー



群馬中央病院



JCHO 10周年記念 市民健康医学講座

手術体験コーナー

入場無料



JCHO 東京高輪病院

第32回 市民公開講座開催

どなたでもご参加いただけます。
皆様お誘い合わせのうえで来院ください。

2024年10月26日 土

時間 午後2時～3時 会場 1階外来ホール

認知症と どうつきあう？



あなとの知りたい認知症
—— 認知症と認知症予防 ——

認知症ケアのヒント
—— 山下 博昭 先生 ——



最悪がすすまないときの工夫
—— 田中 平樹 先生 ——




16 JCHO 東京高輪病院

〒108-8606 東京都港区高輪3-10-11
TEL 03-3443-9191 takananaka.jcho.go.jp

※認知症高齢者グループホーム「アリス」併設
※1階外来ホールで認知症講座を開催予定です



東京高輪病院



開院 100 周年を記念して有志一地域で開く

院内癒しの コンサート

2024年 11月14日(木)

時間 15:30～17:00

場所 JCHO 東京高崎病院
病棟1階 外来待合サロン

開院 100 周年を記念して、また、地域の皆様にも、想い盡し・元氣をお届けすべく、職員と地域の皆様による手作りのコンサートを企画致しました。入院・通院の方、御家族・貴会の方、近くにお住まいの方々、どなたにも、御来聴お楽しみ頂けますと願っております。

主な演奏予定曲

ブランデンブルグ協奏曲 第5番 第1 楽章 (バソリ)

ニュー・トリップ・パラダイス ステラ・
シエル・ブルネの音楽

オー・サンタ・マリア
メンデルスゾーン/ピエトロ・パオロ・カッセル 第1 楽章 第2楽章

アリオ・ソフ (バソリ)

風上げてでもらふ春の歌

新編 二重奏
貴方にて

ヘンドリック・テールライト

※由緒長い曲の2曲はエントランスに於ける演奏



JCHO 東京高崎病院 コンサート実行委員会 各 地域の皆様へ

後援 下り方面を流れる上りバスを臨時乗降場とする。
 上り方面はバス停徒歩5分。 0542-2-1611 (FAX 0542-77)

100th ANNIVERSARY

東京高輪病院

[illegible]

JCHO10 周年を迎え、広報誌
を全面リニューアル！
当院の news&topics や患者さ
まからのお悩み相談、リハビリ
スタッフによる健康への豆知識
など生活に役立つ情報を
発信、これからも地域の
皆さまと共に歩んでまい
ります

JCHO 宇和島病院 院内報

新樹 しんじゅ

独立行政法人 地域医療機能推進機構
宇和島病院
Uwajima Hospital

030

地域最大規模のリハビリテーション部門が、
あなたの健康を支えます。

MESSAGE

MESSAGE

「リハビリテーション科」は、脳卒中や心臓病、骨折など、さまざまな病気や怪我で身体機能が低下した患者さんに対して、医師と理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）などの専門スタッフが連携して、生活の質を向上させるための治療を行います。また、在宅での生活をサポートするための指導も行っています。

当院のリハビリテーション科では、最新の設備を整え、個別に合わせた治療を行っています。また、家族の方にもご参加いただき、一緒に回復を目指します。

〒797-0801 宇和島市本町1丁目1番地
TEL 089-222-1111 FAX 089-222-1112

院長 西川 昭彦

[illegible]

宇和島病院



JCHO100周年記念

JCHO 大和郡山病院 地域医療連携セミナー

2024.11.2 (土)

15:30 ▶ 17:30

【会場】 JWマリオットホテル奈良 若草・三輪 奈良市三条大路1丁目1番1号



プログラム

1	開会式 JCHO大和郡山病院 院長 高田 孝次 ご挨拶 設立行政法人地域医療推進機構 JCHO）理事長 山本 修一	
1	講演1 本院における呼吸器内科診療 【登壇】 JCHO大和郡山病院 副院長 岡 智樹	【演者】 JCHO大和郡山病院 呼吸器内科部長 堀本 祐
2	講演2 本院外科の紹介 【登壇】 JCHO大和郡山病院 副院長 松下 光典	【演者】 JCHO大和郡山病院 外科医長 中村 茂雄
3	特別講演 連携をふまえた脳神経内科診療 【登壇】 大和郡山病院 副院長 山本 修一 大和郡山病院 脳神経内科部長 堀本 祐 大和郡山病院 脳神経内科部長 堀本 祐	【演者】 JCHO大和郡山病院 脳神経内科部長 堀本 祐
4	閉会の辞 JCHO大和郡山病院 院長 高田 孝次	

懇親会 17:45～

セミナー終了後、会場にて懇親会をご用意させていただきます。
 皆さまとの交流を大切にしております。

出欠1人半分の出席をお願いいたします（10/15まで）

本セミナーは公益社団法人医療連携の認定です（第99号中）

（お申し込み名称） 奈良県医師会連合会
TEL 0743-53-0006

地域の先生方、看護士、薬剤師、各医療機関の皆さまとの話し合いをお待ちしております。

設立行政法人地域医療推進機構 JCHO）大和郡山病院 後援 大和郡山病院会

大和郡山病院

10周年記念

JCHO 桜ヶ丘病院

市民公開講座

令和6年

日時 **11月16日(土)**

開演 AM 10:00 閉演 11:10
(開場 AM 9:30)

場所 マリナート(静岡市清水文化会館)

参加無料



※会場は、清水市清水文化会館マリナートです。

開演のご挨拶 副院長 根橋 良雄

講演 (AM 10:05-10:30)

“骨粗しょう症について”

～骨を強くして、健康寿命を延ばしましょう～

演者：JCHO 桜ヶ丘病院 整形外科医師 **栗杉 明**

講演 (AM 10:35-11:00)

“駅前胃カメラ検診はいかがですか？”

～幽門径・特殊光観察による高精度内視鏡のすすめ～

演者：JCHO 桜ヶ丘病院 内科医長 **寺田 修三**

開演のご挨拶 院長 森 典子

主催 独立行政法人地域医療機能推進機構 桜ヶ丘病院

(お問い合わせ窓口)健康管理センター TEL:054-353-5313



桜ヶ丘病院

おかげさまで10周年

CHUBU

平成26年に発足した独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）はおかげさまで10周年を迎えました。

「安心の地域医療を支えるJCHO」として
地域のお役に立てよう頑張ります。

JCHO GIGA
instagram

独立行政法人 地域医療機能推進機構
JCHO
佐賀中部病院
Sage Central Hospital

佐賀中部病院

JCHO10 周年記念
オリジナルグッズ

10周年記念で患者さんに佐賀
中部病院のオリジナルキャラ
クター「ねつききゅん」が描
かれたウェットティッシュを
お配りしました





平成26年に発定した独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）はおかげさまで
10周年を迎えました。

「安心の地域医療を支えるJCHO」
 として地域のお役に立てよう頑張ります。

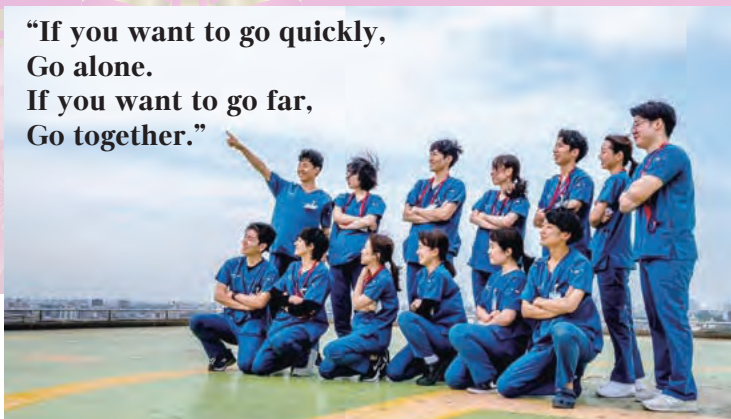


独立行政法人 地域医療機能推進機構
 JCHO Community Medical Organization
 佐賀中部病院
 SAGA CHUHO HOSPITAL

佐賀県佐賀市
 Instagram

ホームページ

“If you want to go quickly,
Go alone.
If you want to go far,
Go together.”



「初期研修医の取組」

JCHO 中京病院

卒後医師臨床研修プログラム責任者

前田 憲幸

当院の初期臨床研修医プログラムでは、「責任感
責任を与えなければ育たない」という方針のもと、指
導医の監督下で主治医として診療経験を積む「研修医
主治医制」を導入しています。また、脳神経外科・整
形外科・形成外科・耳鼻科・泌尿器科の5つの科を8週
間で同時に経験できる当院独自のシステム「外科総
合」を必修化し、これにより全科ローテーションしつ
つも、十分な自由選択期間も確保しています。WEB説
明会等でのアピールにより今年もフルマッチを達成し
ました。（応募68名、定員14名）

JCHO 札幌北辰病院 総合診療科診療部長

若林 崇雄

皆さんは楽しく働いておられますか？

当科には総合診療科専門医を目指す3名の後期研修医がおります。全員
他科からの転科組です。

医療は不確実性がつきものですが、毎日楽しく過ごしています。

どこかのテレビ局のようですが楽しくなくちゃ総診じゃない、と思います。
総合診療科は救急・外来・入院・訪問診療を通じ地域医療のフロントラ
インとして機能するとともに、研修医教育や医学研究に力を注ぎ、“地域
から世界へ”をモットーに活動しています。

先日開催された「病院見学会・専攻医育成のための勉強会」におい
て、JCHO本部・JCHO総合診療医育成担当医師等の視察を受けまし
た。どこまで心に響いたかわかりませんが、JCHO総合診療医が盛り上
がることを祈念しています。



「Web 活用による ブランディング戦略」

JCHO 東京新宿メディカルセンター

広報企画委員会

総務企画課

山田 有希子

「〇県の〇中学ですが、修学旅行のキャリア教育の一環で学生を見学させたい」という問い合わせが全国から多
くあります。2024年度の見学は8件と一番多くなりました。学生へのアンケートの中の1つ「なぜ当院にきたいと
思ったのか」に対してWEBサイトを見てスタッフが優しそうだからという理由が多数でした。

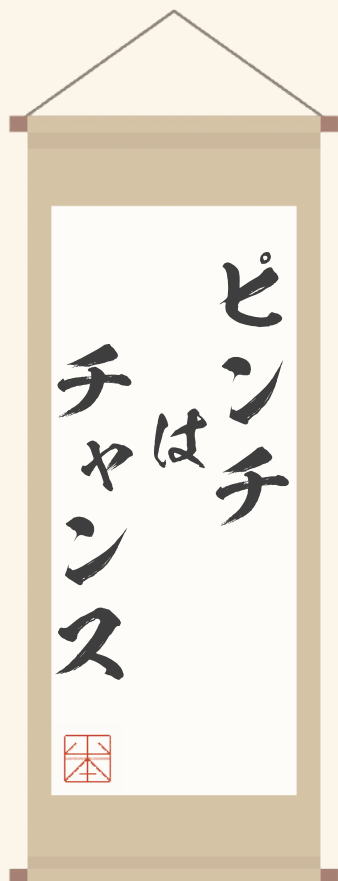
本年4月のサイトリニューアルに向けて一年かけて検討を行い、PR事項を整理しトピックスへ掲載・見学用の
サイトの作成・トップページのカルーセル部の工夫（外来予約センターへ
電話しやすく）を実施。それらの結果、優しいスタッフがいる病院という
ブランディング等が成功しました。

今後も子供達を大切に、支援していきます。

※詳細は当院Webサイト学生見学ページを参照ください。→



2025
Happy New Year



独立行政法人
地域医療機能推進機構
Japan Community Healthcare Organization



本部

〒108-8583 東京都港区高輪3-22-12 ☎ 03-5791-8220

<https://www.jcho.go.jp>



地域と共に10周年！JCHOは、これからも皆さまと一緒に歩み続けます！



JCHO NEWS



years

- 03 役員メッセージ
- 04 ONE JCHO（理事長訪問）
- 06 第9回JCHO地域医療総合医学会
- 08  JCHO・かえるチャレンジ！
仙台病院
三島総合病院
大和郡山病院
九州病院
久留米総合病院
湯河原病院
- 14 病院機能評価 桜ヶ丘病院（後編）
無人売店Open！ 清水さくら病院
- 15 中京病院 独自のローテーション
- 16 「認定看護管理者教育課程」実践報告会
看護師特定行為研修修了者フォローアップ

10周年記念：JCHO学会の歴史

第1回 2016.2
品川第2回 2016.9
品川第3回 2017.11
品川第5回 2019.11
横浜

第4回 2018.11 品川

第8回 2023.12
三重第7回 2022.10
熊本

第6回：新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止

役員メッセージ

看護・介護・地域包括ケア担当理事

Spring has sprung 島田 陽子

I can't wait for Spring to come, it's going to be full of new beginnings for me! 福は内！

EPISODE 2025

温故創新、モウセンゴケのセレナーデ

4月に着任した看護・介護・地域包括ケア担当理事の島田陽子です。

よろしくお願いいたします。

私はJCHOで仕事をする中で、「温故創新」をいつも頭の片隅に置いています。

JCHOは法人発足から10年ですが、各施設はそれ以前からの長い歴史を持ち、その中で培ってきたものが多々あると思います。例えば看護部門では、看護師の養成機関を持ち、法人独自の研修施設で様々な研修を行うなど、看護師の教育・研修に歴史と伝統があります。こうしたことはJCHOの強みの一つだと思います。これから何に取り組むべきかを考える際、まずはこのような「足元」にある強みは何かを考え、そこから何ができるかを着想し、着手するという手法があります。「できない」と諦めずに、「できない」理由に対する見方を変えて一歩踏み出すことに役立つ思考様式であり、変化の激しいVUCA時代*の中で、とても参考になる手法だと思っています。JCHOの強みを生かし、新たな取り組みにもチャレンジしつつ、JCHOの医療・介護サービスのさらなる拡充に向け引き続き取り組んでいきたいと思っています。

*VUCA（ブーカ）時代：変化が激しく将来の予測が困難な状態を指す言葉
Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、
Ambiguity（曖昧性）の頭文字を取った造語

わたしの育てている
モウセンゴケちゃん

地域に「良質な医療」という種をまき
教育という水をやると
信頼という芽がでて
「JCHO」という花が咲く



下関医療センター



当院は高齢者救急を積極的に受け入れることで、高齢層の人口比率が高い下関市の医療を担ってまいります。

相模野病院



群馬中央病院

地域医療の要として、関連機関と連携しながら地域の皆様に愛される病院づくりに取り組んでいます。



若狭高浜病院

私達は、良質な医療・介護を提供し、人々の人生に寄り添い、安心して暮らせる地域づくりに貢献します。

千葉病院

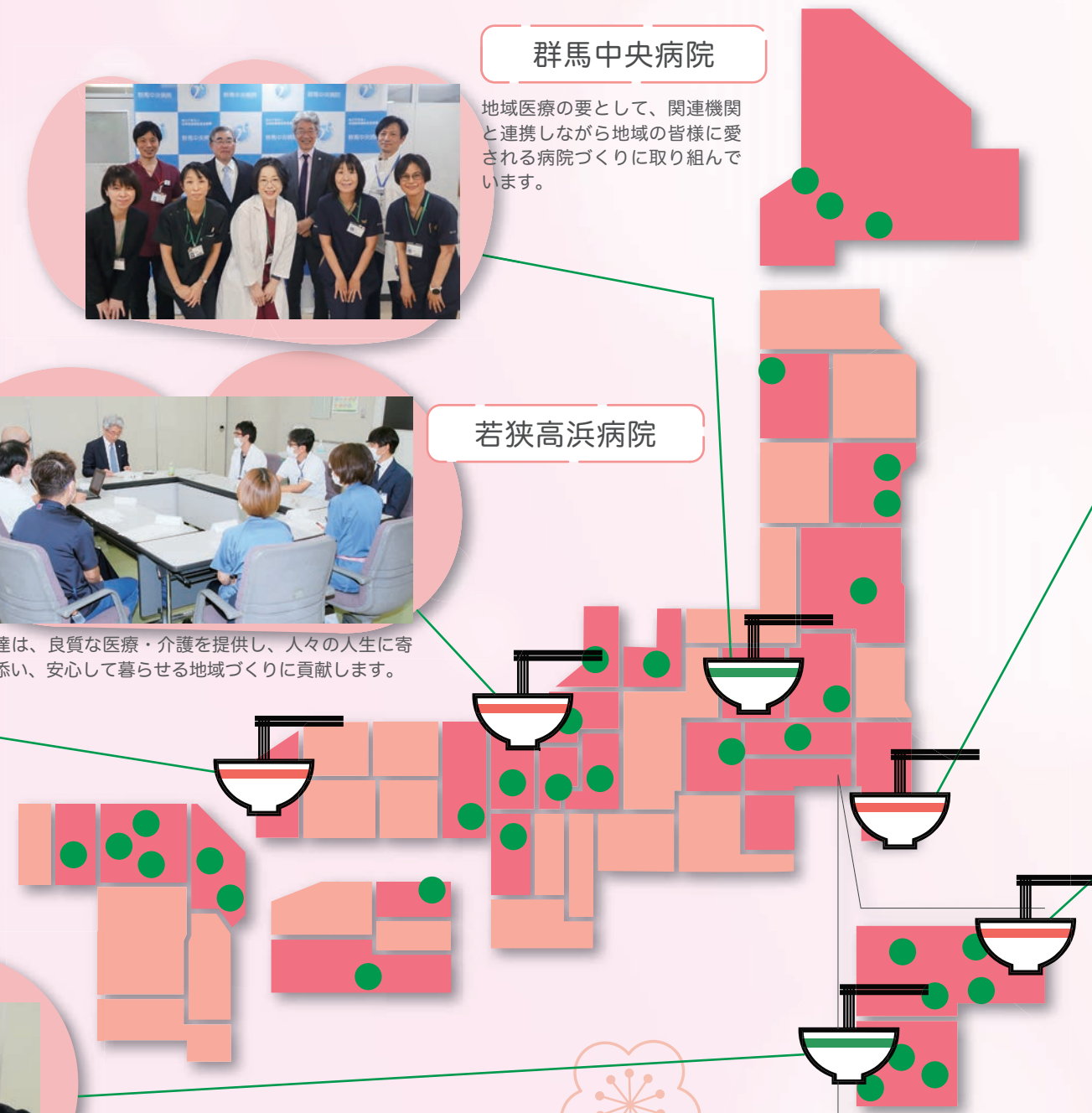


附属老健と共に医療から介護まで地域と連携を図り訪問看護等により地域住民が安心できる医療を目指します。

東京城東病院



地域の皆様に必要とされる安全な医療・福祉の提供に努めております。



第9回JCHO地域医療総合医学会を終えて

2024年11月29日～30日、仙台国際センターにおいて、第9回JCHO地域医療総合医学会を開催しました。熊本、三重に続いて地方開催3回目となる今回の医学会には、2,100名の参加者と過去最大数となる553題もの一般演題をいただくことができました。

「ともに築こうJCHOの強み」をメインテーマに山本理事長による講演「変えよう、変わろう、JCHO」をはじめ、“教育のJCHO”を目指した魅力あふれる学会になり、参加者の皆様から「仙台にきて良かった。」「ホスピタリティに富んだ素晴らしい学会であった。」と言っていただき、スタッフ一同ほっとしております。これもひとえに関係者の皆様のご厚情の賜物と心より感謝申し上げます。

JCHO仙台病院 院長
第9回JCHO地域医療総合医学会会長
村上 栄一



JCHO仙台病院
オリジナルキャラクター
「ずんずん」

を開催しました

第9回JCHO地域医療総合医学会

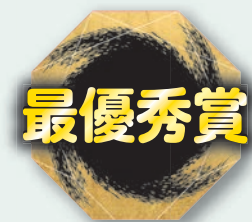


—開催日—
2024年11月29日～30日

—開催場所—
仙台国際センター



JCHO仙台病院



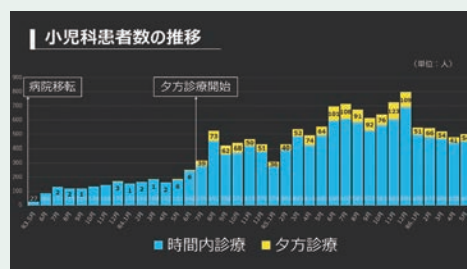
チーム名：小児科チーム

地域が求める小児医療への挑戦！

看護師長
樋場 美幸

この度は『地域が求める小児医療への挑戦』として、最優秀賞という輝かしい賞を頂戴し大変光栄に思います。

地域の子どもたちの健康と共働き世帯の育児支援を図るため、多職種で構成する「小児科チーム」を立ち上げ、令和4年度より小児科夕方診療を開始しました。仕事終わりに子どもが受診できる環境を整えたことは、地域の働き世代に対応した小児医療を実現することができたと思っております。地域を支えるJCHOの使命として、今後も地域住民のニーズに応えた小児医療を提供し続けていきたいと思います。



JCHO大和郡山病院



チーム名：算定戦隊あげレンジャー

優秀賞

やばいぞ、目標数値に手が届かない
「入退院支援加算1」からうまれたチーム力

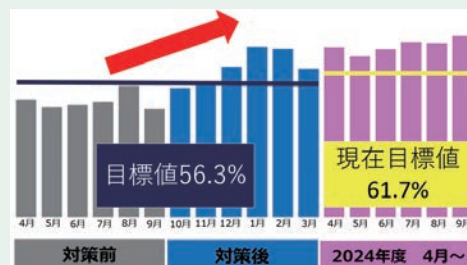
患者総合支援センター 医療社会事業専門員
中野 真伍

私たちは「入退院支援加算1」の算定率向上に取り組みました。

患者情報やカンファレンスの内容が薄いことが問題であったため、関係する部署を巻き込み、情報収集シートの書式変更、カンファレンスの参加者や開催日を増やすなどの改善を行いました。

目標値が達成することが出来ただけでなく、旗を振れば協力してくれるという院内に隠れていたパワーを発見することも出来ました。

今後も多職種で力を合わせて改善に取り組みます。



病院長より

一つの課題に向かって多職種でチームを組んで解決するための道筋が出来たと思います。院内に埋もれているパワーを活用して、患者支援の充実や病院経営の改善に向けてさらに貢献して下さることを期待します。

JCHO九州病院



チーム名：新時代～心電図至急判読～

優秀賞

12誘導心電図における
至急判読運用の再構築と判読業務の効率化を図る

主任臨床検査技師
宗 麻衣

この度は優秀賞という素晴らしい賞をいただき、大変光栄です。

今回の活動は伝統的に行ってきた“心電図至急判読”を、医師・技師ともに効率的かつシステム上で完結できる体制に一新しようと循環器内科と共同で行いました。

多職種で対策を行った結果、至急判読は予想を上回る83%削減できました。昔から当たり前に行っている業務も問題解決・課題達成思考を身につけることで慣習を変え改善できました。今後も職種横断的に改善活動を行い、医療の質向上に努めていきます！

病院長より

今回の取り組みは、当院のTQM活動発表大会(2023年)において、注目を集めたものです。心電図至急判読業務の効率化をチームで進めたことにより、検査科と循環器内科双方での改善、波及効果が得られ、とても有意義であったと思います。

TQM 活動

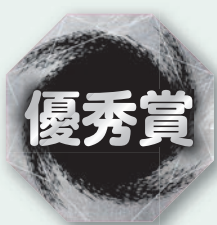
Total Quality Management の定義

組織全体で医療の質の向上を目指す

JCHO久留米総合病院



チーム名：プレジデントチーム



プレアボイドを用いた医師インシデント報告率の増加に向けた取り組み

副院長
亀井 英樹

この度は、優秀賞という名誉ある賞を頂きまして、関係の方々に厚く御礼申し上げます。当院では、医師からのインシデントの報告率が全体の約3%程度と伸び悩んでおりました。その現状を改善するために、薬剤部からのプレアボイド報告をLevel 0として医療安全管理部から医局に院内メールで促し、医師インシデント報告率が増加するように多職種連携で取り組みました。その結果、医師インシデント報告率は短期間で全体の1割を超え、インシデントに対する医師の意識変化に繋がったと思います。



病院長より

本活動は医師のインシデント報告が少ない事の解決の一方法として行った取り組みでした。医師のインシデントレポート記載を習慣付けるきっかけになりチームに感謝します。また、優秀賞受賞も大変喜ばしいことでした。



JCHO湯河原病院

チーム名：休日リハビリ何とかし隊

多職種でやろう！休日リハビリテーションの輪
～3歩すすんで2歩さがらないリハビリテーションを目指して～看護師長
津吉 康子

「休日のリハビリ量を減らしたくない、何とかしたい」と多職種間で悩んでいましたが、看護管理者が先導し、PT・OTも一丸となり、2つの病棟が協力のもと、休日に行える体操を考案し、実施しました。

継続を促すため「やるなら楽しみながら」と考え、湯河原夏祭りで聴き慣れた『やささ踊り』のリズムに合わせたところ、ご高齢の患者様にも喜ばれ、積極的に参加をいただきました。

これからも、多職種連携で業務改善に取り組んでいこうと思います。

湯河原やささ音頭を
聞くと、湯河原近隣の
患者は元気が出ます



肩甲骨を動かす運動

病院長より

手術等の初期治療を終えて、休日が続くことでプレーキがかかることは病院での宿命的問題でした。当院のリハ部と看護部のスタッフが協力して、限られた休日勤務者で効率よく楽しく安全に体を動かしていく試みを編み出し、実行してくれたことを誇りに感じます。

病院機能評価 桜ヶ丘病院 (後編)

「病院機能評価について 桜ヶ丘病院より(受審後)」について

JCHO桜ヶ丘病院 給与係長 山本 悟

当院は築60年以上の建屋でハード面だけをみても認定は難しいと思っていました。しかし院長の鶴の一声で受審が決まり、多くの不安を抱えスタートしました。受審日が近づくにつれ書類も形になり、ケアプロセスやカルテレビューに関しても模擬訪問審査や練習を何度も行いましたが、不安は常に残っていました。しかし私の憂いはどこへやら、結果はAが59、Bが16、Cが1項目と予想以上の評価となり、Cは即改善報告し、Bも可能な限り改善予定です。改めて当院は逆境に強い病院だと感じた今日この頃です。



本売店は現金不要、キャッシュレス決済で利便性UP!

静岡県内の病院で 初!無人売店Open!

JCHO清水さくら病院(令和7年3月1日開院)では静岡県で初めて病院内に無人売店を開店いたします。昨今の深刻な人手不足やコスト上昇に伴い、規模の小さい病院への有人コンビニ等の誘致は非常に困難な状況となっております。そのような状況の中、マックスバリュ東海株式会社の運営する無人店舗Maxマートを開店することになりました。豊富な品揃えとお買得な商品を用意し少しでも利用者の利便性向上にお役立ていただきたいと考えております。

キャッシュレス セルフレジの 使い方

手順1 置き台に購入商品を置きます。	手順2 画面下のスクナで商品に付いている「バーコード」を1つずつスキャンします。	手順3 スキャンした商品はお手持ちの袋に入れるか、台の上に置いてください。	手順4 クレジットカード 電子マネー WAONなどの電子マネーまたはクレジットカードでお支払いください。
----------------------------------	--	---	---

愛知県 人気 No.1 中京病院独自のローテーション

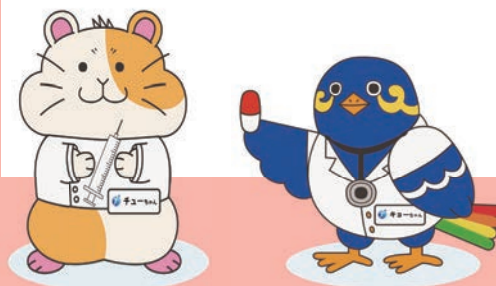
JCHO中京病院 統括診療部長 前田 憲幸

当院では研修医教育に力を入れ、実践的なスキル習得のための様々な独自の取り組みを行っています。その一つが「外科総合」ローテートです。整形外科、形成外科、耳鼻科、泌尿器科、脳神経外科の5科を8週間で同時に研修でき、ERで頻繁に遭遇する疾患への対応力を高めます。短期間の細切れ研修では得られない多彩な症例経験を提供し、効率的に学べる環境を整備しています。



このような取り組みは多くの研修医・医学生から評価され、

2024年度医師臨床研修マッチングで当院は**愛知県人気 No.1**となりました。



「認定看護管理者教育課程セカンドレベル」

研修受講1年後の 実践報告会

計画・実践・評価そして報告 さらに力をつけるために！

看護研修課では研修受講後のフォローアップを行っています。
研修で立案した看護管理課題解決に取り組み、その成果を共有しました。(対面+WEB)

旧交を温めながら情報交換も行いました。

修了者の皆さんは堂々と発表され、成長を実感しています。

今年の受講者にとっては大変参考になり、有意義な報告会となりました。



看護師特定行為研修修了者の フォローアップ講習会

本講習会は厚生労働省の委託を受け、特定行為の実践で重要な判断をするスキルの維持・向上を目的に開催しました。

星ヶ丘医療センターの林講師から臨床推論の講義と事例検討、神戸中央病院の木下講師から特定行為研修修了者の活動について講演頂きました。研修では、特定行為の実践に必要な臨床推論の力を磨き、また、自己の課題や解決に向けた意見交換を行いました。他施設の修了者とも繋がりを深めることができ、有意義な講習会となりました。

同じ悩みを共有でき、
今後の活動に活かそう

他施設の特定行為
修了者と事例検討
できた事でより
理解が深まった



当院でも疑似患者を
使用した臨床推論を
実施していこうと
思う



独立行政法人
地域医療機能推進機構
Japan Community Healthcare Organization



本部

〒108-8583 東京都港区高輪3-22-12 ☎ 03-5791-8220
<https://www.jcho.go.jp>



地域と共に10周年！JCHOは、これからも皆さまと一緒に歩み続けます！